

佳作

絶滅した動物たち

白金小学校 塚田 謙太郎

絶滅とは、すっかりほろぼすまたはほろびることです。生き物は、人間によるほかくや自然破壊のため絶滅してしまいました。

たとえば巨鳥モア、リョコウバト、ニホンオオカミ、コウノトリ、トキ、ニホンカワウソなど人間のらんかくや自然破壊などがおもな原因です。

自分がふつうにくらしても、ちがう外国人などがいま地球でいろんな動物や生き物がらんかくなどほうりつをつくってもららんかくする人がいて、いまでも動物がへりつづけています。

ただふつうにくらしてもその生活からにさんかたんそをだして北極の氷がとけてホッキョクグマがいつしよに海にしずんだり、ホッキョクグマの食べ物アザラシがいきをするあながすくなくなり食べ物がなくてうえじになつたりして死んでしまいます。

われわれ人間がじぶんだけよければいいわけじゃなくてほかの動物のことやいろいろ動物と人間は、この地球でもにくらしているから人間は動物のことを考えていつしよにくらしているのをわすれないことは大切なことだから、

わすれないようにもつと犬やねこなどじぶんでかいはじめたら、死ぬまで自分ができるところまでは自分で考えてやっていきたいです。

いま人間がらんかくしているいろんな動物が絶滅しているなかではトラやゴリラなどいろんな動物がへっています。自分でできることはやっていきたいです。

絶滅してしまった動物。もうよみがえらせることのできない大切な命。どんどんらんかくされています。

自分が今できることをだききって動物や生き物は、大切にして同じ地球で生きている人間と動物と生き物と植物はみんないつしよに生きていくためにどりよくをしたいです。